

日本風景街道だより

2015年春 Vol. 32

事例紹介：道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）

国土交通省道路局では、道路に関する先進的または斬新な施策について、効果や影響を確認するため場所と期間を限定して試行・評価する現地実証実験(社会実験)を平成11年度から実施しています。平成26年度は全国で9地域が採択されて実施されましたが、そのうちの2地域は日本風景街道の取り組みに関連したものでした。

今号と次号で、当該地域の実験内容とその結果、課題等を紹介します。

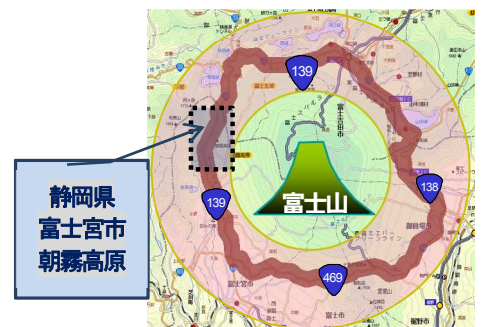
地域力を活かした景観管理の取り組みについて

ルート名：ぐるり・富士山風景街道

1. はじめに

霊峰富士をめぐる幾筋もの道には、日本人の祈りの風景があり、それを支えた暮らしの風景があります。「ぐるり・富士山風景街道」は、霊峰富士を望む国道138号、139号及び469号をつなぎ、ぐるりと富士山麓を一周するルートを軸に、富士山を見る道風景と裾野に広がる自然や歴史、文化や風景などを守り・創り・伝える活動を通して、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した活動です。

平成25年の富士山世界文化遺産の登録を機に”歩き旅”を楽しむ人が増えており、「ぐるり・富士山風景街道」での活動の一環として、構成資産を巡る「ぐるり富士山トレイル」ルートが静岡・山梨両県で設定されました。



ぐるり・富士山風景街道ルート図

2. 景観管理をめぐる課題と取組

今回、紹介する取り組みは、国土交通省道路局の「平成26年度 道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)」を活用し、地域力を活かした景観管理を行う仕組みの創造に向けた検証を行ったものです。

本社会実験は世界文化遺産に登録された富士山の麓、静岡県富士宮市朝霧高原の国道139号の山梨県境～静岡県富士宮市までの約7.5kmの区間で行いました。この区間はススキ野原や酪農地帯が続く牧歌的な雰囲気を持ち、雄大な富士山の風景を楽しむことができる人気の観光道路となっています。

この地域では、これまでも「ぐるり・富士山風景街道」における地元の活動として、富士山の美しい景観を維持するために住民・事業者・道路管理者・行政機関・NPO等が協働し「朝霧地区景観形成ワークショップ会議」を組織して、不用看板の撤去や集約案内サインの設置などを進めており、景観に対して関心が高い地域です。

しかし、現状では世界文化遺産に登録された富士山にふさわしい『美しい景観の維持＝景観管理』が十分に出来ておらず、国道から見る富士山の眺望が、道路脇の歩道や外側の法面に生い茂った草木により遮られています。

これらの課題を解決するため、活動資金を開発し、地域の「人」や「技術」を活かして景観管理を行う仕組みの創造について、社会実験として取り組むこととしました。

社会実験の実施にあたっては、地元自治会・学識経験者・事業者・道路管理者・行政機関等から構成する「富士山朝霧高原景観管理協議会」を設置し、「ぐるり・富士山風景街道」パートナーシップ事務局であるNPO法人「地域づくりサポートネット」が社会実験の事務局を務めました。



ススキ野原の風景が魅力の朝霧高原



草木が生い茂る歩道

3. 景観管理に向けた資金開発の取組

地域が継続して「人」や「技術」など地域力を活かした景観管理を続けるためには、安定した活動資金を得て、地域の活動へ還元する仕組みの創造が必要になります。そこで、本社会実験では、活動資金を獲得するため、「道の駅」と「簡易パーキング」で景観を楽しむシーニックマルシェを開催し、雄大な富士山の景観を満喫しながら飲食ができるスポットとして、地元の食材を使った食事や菓子の販売を行いました。

道路区域内への出店にあたり、「地域の活性化に資する路上イベントに伴う道路占用の取扱いについて(国道利第28号平成17年3月17日)」に基づき道路管理者と協議を行いました。出店者からは、「道路敷地での出店は手続きが大変」といった意見がある一方で、「道の駅やパーキングは立ち寄りも多く、出店数や期間を増やし定着すれば魅力的であり将来的には期待も大きい」と前向きな言葉も聞かれました。

シーニックマルシェの実施は、「道路の景観管理をPRする拠点としての役割も大きい」と考えられることから、出店数や期間、周知方法に工夫を加えながら、次年度以降も引き続き実施していきたいと考えています。

他にも、インターネットの活動支援サイトや読み終えた本による募金活動、朝霧高原への観光客(ツアー参加者)を対象とした募金活動といった資金開発に取り組まれました。



道路空間を利用したシーニックマルシェの様子



インターネットの活動支援サイト



観光客による募金

資金開発への取り組みと実施評価

取り組み事例	評価
シーニックマルシェ	出店数や期間を増やし定着すれば効果的な手法 今回は開催時期、周知期間が不足したことから効果が低かった
インターネットの活動支援サイトによる募金 (クラウドファンディング)	今回は高額な資金を得ることができたが、次年度以降の継続的な資金開発は、支援目的の見せ方など検証が必要である
読み終えた本などによる募金 (BOOK 募金)	地域外や幅広い年齢層からの協力も多く得られる一方で、1冊あたりの単価が低く、一定の収入を見込むには、量を確保する必要がある
観光客による募金	ウォーキング等現地で楽しんだ後の募金は、趣旨が理解されやすく効果的であった

4. 地域の「人」や「技術」を活かした景観管理の取組

地域住民の皆さんや牧畜業、農林業の方々に協力を得て、社会実験で開発した資金を地域の景観管理活動へ還元し、地域で景観管理活動を行いました。

景観管理活動は地元の地区が窓口となり、地区単位で歩道部分などの草刈りや清掃作業を行い、安全・品質管理の観点から、各地区で傷害保険に加入したうえで、道路管理者との協働による安全講習も受講して行いました。

参加者からは、「草の中へのごみの投げ捨てが多く、状態の悪さと景観管理の重要性を認識した」、「富士山の撮影スポットなのでキレイにしておきたい」との前向きな感想も頂きました。ただ、一方で、「道路管理を手伝っているのに毎回作業届を出す必要があるなど手続きが煩瑣である」といった声もあり、今後の検討課題の一つとなっています。

また、地域住民の皆さんとの活動以外に、酪農地帯の魅力、歴史を学びながら清掃活動を実施する「朝霧グリーン＆モニターウォーク」や、旅行会社とタイアップした観光客(ツアー参加者)による清掃活動も行いました。参加者からの評価は高く、景観管理にあたっては、地域の住民だけではなく、道路の利用者(トレイルウォーカー)や観光客(ツアー参加者など)も大きな力になると感じました。



地域住民による草刈作業



きれいになった後、富士山の風景を撮影する人

5. おわりに

今回の取り組みを通じ、活動資金の開発と地域の「人」や「技術力」を活かした活動により、持続可能な「景観管理」の可能性が見えてきました。また道路利用者や地域外の協力者の力も活かせることも検証され、地域の皆さんをはじめ協力いただいた方々からは、「次年度以降も活動を継続したい」といった力強いことばを頂くことができました。

住民団体やNPO等が安定的・持続的に景観管理を担っていくためには、安定した資金開発と地域力を活かした景観管理の仕組みの創造が必要であり、将来的な制度設計や法改正と資金開発により活動費を確保していく仕組みについても今後検討していきます。

今回の取り組みにより、「草刈り作業における安全・品質の確保」、「マルシェや草刈り作業における煩瑣な手続きの改善」、「マルシェの認知度向上による資金開発力の向上」等の課題も確認されました。

引き続き、新たな仕組みを提案しながら、地域と道路管理者との連携を強化し、実践的な景観管理活動を進めていきたいと思っております。

< 執筆者 >

NPO法人 地域づくりサポートネット

代表理事 山内 秀彦

国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課 問山 賀衣



朝霧高原から望む富士山

日本風景街道意見交換会 発表事例紹介

国土交通省では、平成 27 年 1 月 28 日(水)、「道路管理者・行政としての日本風景街道の取り組み」をテーマに、日本風景街道を担当する行政機関による意見交換会を開催しました(開催報告は、前号(2015年冬 Vol. 31)を参照してください)が、今号から、意見交換会で「地域の取り組み」として発表された3事例について、毎号1事例ずつ紹介します。第1回目は、北海道開発局より発表のあった「景観改善に向けた取り組み」です。

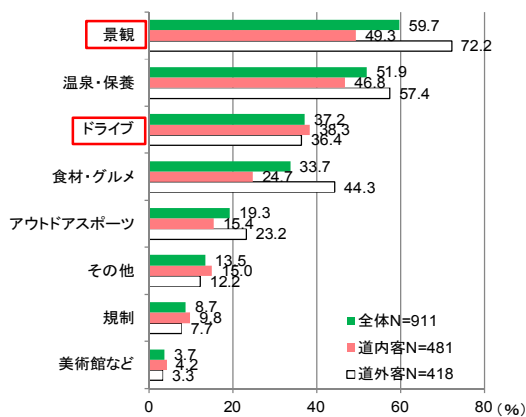
景観改善に向けた取り組み ～シーニックバイウェイ北海道～

北海道開発局建設部道路計画課

1. シーニックバイウェイ北海道がスタートした背景

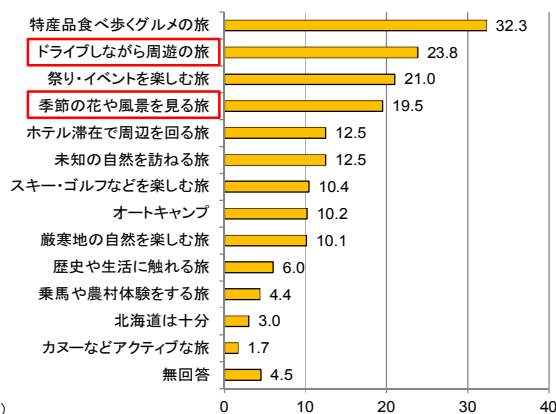
(1) 北海道旅行の目的

- ・平成 12 年の調査によると、北海道を旅行する目的は、景観、温泉・保養、ドライブが上位を占めていた。
- ・特に道外からの観光客においては、景観を楽しむことを目的にしている割合が高い。



北海道旅行の目的(平成 12 年)

出典:北海道開発局資料

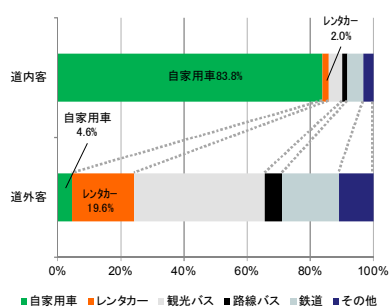


今後希望する北海道旅行スタイル(平成 12 年)

出典:北海道開発局資料

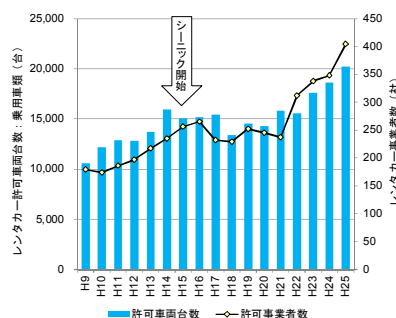
(2) 北海道観光の主な交通手段

- ・北海道を観光周遊する交通手段は、道内容の約 8 割、道外客の約 2 割が自家用車やレンタカーを利用していた。
- ・「レンタカー事業者」や「道の駅利用者」の増加にみられるよう自動車周遊型旅行は増加傾向にあった。



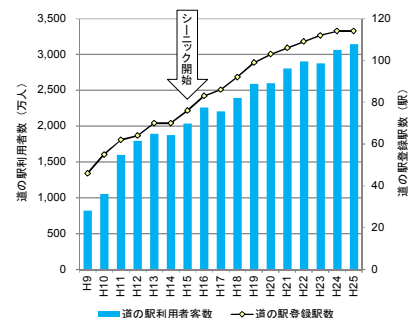
北海道観光の主な交通手段(平成 15 年)

出典:平成 15 年度観光客動態・満足度調査



レンタカー登録台数・事業者数

出典:北海道開発局資料



道の駅利用者数・登録駅数

出典:北海道開発局資料

2. 景観改善・保全に向けた取り組み

(1) 花植・植栽活動、清掃活動

・地域住民と連携し、観光客に気持ちよく訪れていただけるよう花植活動、植栽活動や清掃活動を全道各地で展開している。

(2) 地域住民と連携した景観診断

・地域の住民、関係団体、道路管理者が一緒になって景観の優れた箇所及び景観阻害要因を抽出し景観の改善を実施した。

①標識の小型化、集約化等を実施（道路管理者が主体的に実施）

良好な景観を阻害している道路標識の小型化、集約化など、景観阻害を低減するような対策を標識の更新時期に合わせて実施した。



道路標識改善前(富良野市)



道路標識改善後(富良野市)

②道路沿道にある防雪柵の見直し（道路管理者が主体的に実施）

防雪柵の更新時期に合わせ、一般的な固定式から収納式の防雪柵に変更した。



防雪柵更新前(京極町)



防雪柵更新後(京極町)

③景観を阻害している廃屋の解体、再利用（地域住民が主体的に実施）

景観を阻害している廃屋を地域住民が撤去したり、空き屋になっていた建物をレストランとして改装し、再利用した。



廃屋撤去前(旭川市西神楽)



廃屋撤去後(旭川市西神楽)

④道路沿線にある不要看板の撤去、再利用（地域住民が主体的に実施）

道路沿線にある不要看板を持ち主の了解を得た後に、地域の手により撤去、一部は地域の案内看板として再利用した。



不要看板撤去前(旭川市西神楽)



不要看板撤去後(旭川市西神楽)

3. 地域の景観を生かす取り組み

(1) ビューポイントパーキングの整備

- ・景観が良く、写真を撮影するために路上駐車や乱横断が発生していたところに駐車帯を道路管理者が整備した。
- ・清掃・美化活動などの維持管理については、地域の方々が実施している。

(2) シーニックデッキ・カフェの整備

- ・北海道の美しい景観を安全で快適に楽しんでもらうための場所として「シーニックデッキ」と、飲食も提供出来る「シーニックカフェ」を整備した。
- ・シーニックカフェは設置箇所によって、有償の提供を行っている箇所と無償での提供を行っている箇所がある。

(3) ガードレールの雪かきボランティア

- ・ガードレールに除雪した雪が溜まっていると、「ドライブ中の車窓から見えない」、「流氷を見るために、路上駐車している車両がいて危ない」との声があったため、ボランティアによる雪かきを実施した。
- ・人力で除雪困難な箇所は、道路管理者を通じ、道路除雪業者の力を借りながら円滑に実施していた。

(4) 流氷展望ひろばの設置

- ・流氷を見たいが、「駐停車する場所がない」、「路上駐停車車両により安全性が低下している」という声を踏まえ、車を停めて流氷を眺めることが出来る場所を整備した。

(5) 駐車帯からの眺望を改善

- ・かつては、駐車帯に車を停めて、山並みを眺めることが出来たのに、木が伸びて見えなくなった」という声を踏まえて、支障になる樹木を関係者である阿寒国立公園管理者（環境省）、国有林管理者（林野庁）と協議し、林野庁や地域住民が協力して伐採を実施した。
- ・関係者の理解により、スムーズに話し合いを行うことが出来た。



ビューポイントパーキング(大空町)



シーニックデッキ(清里町)

4. 企業との連携活動

シーニックバイウェイ北海道では、双方の資源を有効活用した効果的連携を推進するため、シーニックバイウェイ北海道推進協議会と民間企業とで包括協定を締結している。

(1) シーニックバイウェイ北海道ブースの設置 (株式会社トヨタレンタリース札幌)

- ・北海道ドライブの玄関口ともいえる新千歳空港周辺のトヨタレンタリース新千歳ポプラ店内に「シーニックバイウェイ北海道ブース」を設置
- ・国内外のレンタカー利用者に対してドライブの楽しさや北海道の魅力を伝え、北海道全体の観光魅力度の向上と今後のさらなるレンタカー利用者の拡大を図ることが目的



シーニックバイウェイ北海道各ルートの景観パネル設置

(2) シーニックバイウェイ北海道のPR活動と地域特産品の活用 (札幌グランドホテル)

- ・「レストラン・ノード43℃」の朝食・バイキングにて、ルート内の地域食材や特産品を活用したメニューの提供
- ・定期刊行物での美味しい寄り道レストランフェアの特集記事



美味しい寄り道レストランフェアの特集記事



ルート内の地域食材や特産品を活用したメニューの提供

(3) シーニックバイウェイ北海道への協賛 (北海道コカコーラボトリング)

- ・「100年の木プロジェクト」によるサインツリーの植樹
- ・十勝平野と大雪山の北海道限定デザイン缶の販売、地域連携によるコーヒー缶サンプリング配布



100年の木プロジェクトによる植樹や北海道限定デザイン缶の販売



サンプリング缶の配布

(4) シーニックバイウエイルートを巡るドライブツアーの企画、旅行商談フェアでのPR (Follow Me Japan. Pte. Ltd.)

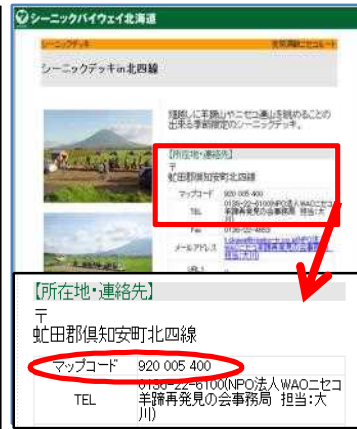


シーニックルートを巡る北海道ドライブツアーの企画

シンガポール旅行商談フェア(NATAS)

(5) シーニックバイウエイ北海道広報ツールへマップコードの無償提供 (デンソーセールス)

・シーニックバイウエイ北海道ホームページやドライブ情報誌「Scenic Byway」へのマップコードの無償提供



シーニックバイウエイ北海道ホームページ

シーニックバイウエイ北海道ドライブ情報誌 Scenic Byway

(6) シーニックバイウエイ北海道のPR活動 (鶴雅グループ)



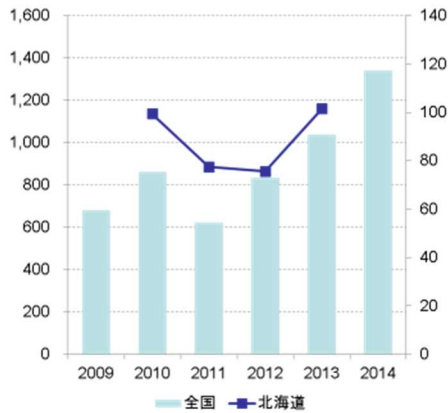
シーニックカフェとしてスタンプラリーに参加

店内にシーニックバイウエイ北海道等のチラシを設置

5. シーニックバイウェイ北海道の更なる推進に向けて

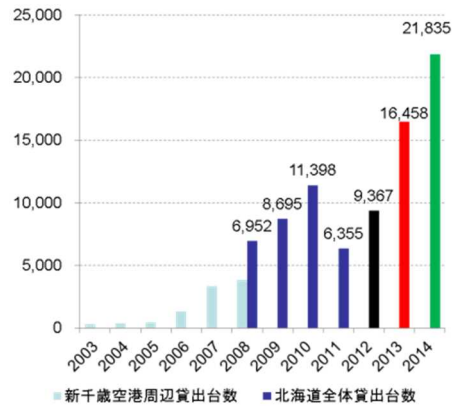
(1) 訪日外国人のドライブ観光の状況

・北海道を訪れる外国人の増加、ドライブ観光ニーズの拡大により、外国人へのレンタカー貸し出し台数も好調に増加している。



訪日外客数(万人)

出典: 日本政府観光局(JNTO)

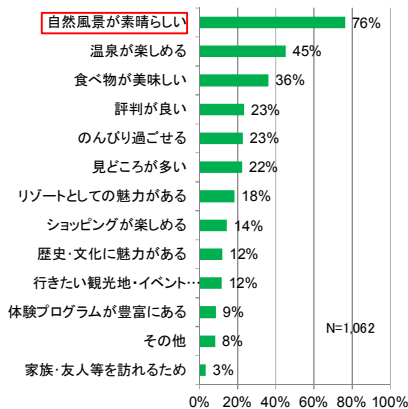


外国人へのレンタカー貸出数(年別)

出典: 北海道地区レンタカー協会

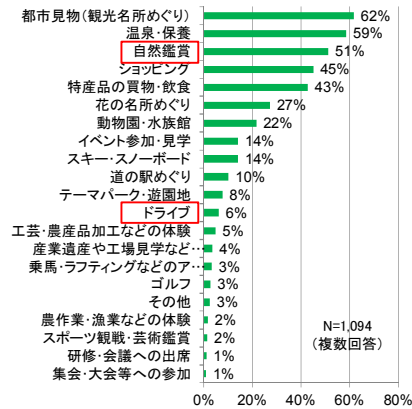
(2) 訪日外国人の北海道観光のニーズ

・北海道を訪れる外国人観光客は、良好な自然風景を望んでいる。



外国人観光客の旅行先を選んだ理由

出典: 平成23年度観光客動態・満足度調査(北海道)



外国人観光客の旅行中の行動

出典: 平成23年度観光客動態・満足度調査(北海道)

(3) 今後の10年を進めるためには

- ・未だ低いシーニックバイウェイの認知度向上
- ・コミュニケーション不足の解消
- ・安定的な資金源の確保
- ・活動メンバーの不足・固定化・高齢化への対応
- ・インバウンド観光客も視野に入れた道路景観(美しい風景)の効果的なPRなどについて、有識者や活動団体と一緒に検討していく。

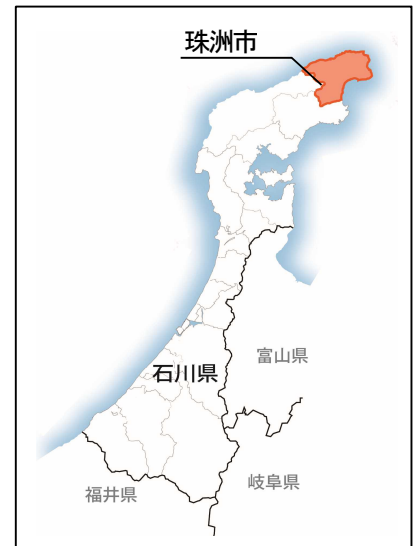
シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

ルート名：奥能登絶景海道（石川県珠洲市）

1. ルートの概要

「奥能登絶景海道」は、日本海側最大の半島である能登半島の最先端に位置する石川県珠洲市内の国道249号及び主要地方道大谷狼煙飯田線を中心に活動しています。

このルートは、能登半島国定公園内の風光明媚な景観や自然環境、風土、歴史などを活かし、珠洲の観光支援と地域コミュニティの再生、さらには人々との交流を促進する魅力ある地域を提供する延長50kmを超えるルートです。また、珠洲市は、国内初の世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」にも含まれており、能登の絶景をひた走りながら、ここでしか味わえない世界農業遺産を体験できます。



曾々木海岸 垂水の滝



道の駅 すず塩田村



ゴジラ岩



禄剛崎灯台



珠洲焼資料館



飯田町燈籠山祭り



見附島(通称:軍艦島)

2. 話題の注目スポット

(1) NHK連続テレビ小説「まれ」の舞台 能登の塩「揚げ浜塩田」

2015年3月30日から全国で放映されているNHK連続テレビ小説「まれ」。その舞台の一つである珠洲の揚げ浜塩田では、約500年前から伝わる揚げ浜式製塩法でミネラル豊富な天然塩が作られています。

この製塩法は日本で唯一、珠洲の仁江海岸で受け継がれてきました。海水を砂の塩田にまき散らし、乾燥させた砂を垂れ船(ろ過装置となる箱)に集めてさらに海水をかけ濃度の高い“かん水”を作ります。このかん水を大釜で何時間も煮詰めることで天然の塩が出来上がります。

珠洲の天然塩は、添加物など一切使わず天然海水のみで作られているため体にも優しく、全国、世界から大変注目を浴びています。5月～10月の晴天時にしか収穫できないので、希少価値が高く生産量も限定されます。最近では、塩を使用したサイダーやクッキー、アイスなど様々な商品が開発されており、気軽に味を楽しむことができます。



「揚げ浜塩田」を守り続ける角花家の塩田



角花 豊さんによる潮撒き

(2) 映画「さいはてにて」のロケ地

2015年2月28日に公開された映画「さいはてにて～やさしい香りと待ちながら～」は、美しい奥能登・珠洲市を舞台に、一杯の珈琲がつなぐ、人と人の心暖まる物語。

舞台となった木ノ浦では、映画の中心的舞台となった舟小屋のロケセットが残されています。また、ロケ地の木ノ浦海岸や舟小屋を一望できる場所に昨年夏、体験型宿泊施設「木ノ浦ビレッジ」が完成し、オリジナル珈琲の焙煎や、珠洲産珪藻土の窯で焼くピザづくりなどが体験できます。



舟小屋



木ノ浦ビレッジ

(3) 空中展望台“スカイバード”

能登半島の先端にある珠洲岬は、聖域の岬と称され“自然界のパワー”が集中する場所で日本三大パワースポットの一つに数えられ、展望台は崖から約9.5m突き出しているため、眺めは格別の一言。

自然界からのパワーを受け取る場所として、癒しを求めに全国から多くの方がこの地を訪れています。



空中展望台“スカイバード”からの眺望

(4) 能登のキリコ祭り

文化庁が今年度新たに創設した日本遺産について、平成27年4月21日(火)に「日本遺産認定委員会」が開催され、石川県から申請した「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)が日本遺産に認定されました。



宝立七タキリコまつり

あか ○灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～

日本海文化の交流拠点である能登半島は独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その白眉はキリコ祭り^{あか}と総称される灯籠神事。夏、約200地区で行われ、能登を照らし出す。日本の原風景である素朴な能登の里山里海で神輿とともに、最大で2トン、高さ15mのキリコを担ぎ上げ、激しく練り回る。祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭礼が、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をし、そしてこれほどまでに灯籠神事が集積をした地域は唯一無二。夏、能登を旅すればキリコ祭りに必ず巡り会えると言っても過言ではなく、それは神々に巡り会う旅ともなる。

(5) 大谷川鯉のぼり

初夏の風物詩として、約450本もの鯉のぼりが大谷川河口付近の大空を泳ぎます。

空には大小色とりどりの鯉のぼりが風に吹かれてゆらゆら泳ぐさまは壮観そのもの。



大谷川鯉のぼり

3. 活動の概要

(1) 奥能登の魅力再発見とコミュニティ再生

〈珠洲おらかた案内人〉

珠洲市観光ボランティアガイド「珠洲おらかた案内人」の「おらかた」は、地元の方で「私たちの住んでいるところ」を意味し、ガイドブックでは得ることのできない地域の歴史や文化、自然の魅力を地元の人ならではの案内で来訪者をもてなします。

地元の人だからこそ、生まれ育った土地を愛しているからこそ、伝えられる魅力があるのです。



珠洲おらかた案内人

〈みつけじまんプリン〉

テレビ金沢との共同開発で、濃厚な大浜大豆の豆乳、能登大納言小豆を用い、奥能登のシンボル見附島をモチーフにした「みつけじまんプリン」が2014年12月に誕生しました。



みつけじまんプリン

(2) 美しい景観や自然環境を守り育てる

〈奥能登絶景海道カレンダー〉

平成20年から毎年製作しており、珠洲の絶景やイベント情報が満載のカレンダーは、地元や珠洲を離れた多くの方々から好評を得ています。



奥能登絶景海道カレンダー

〈海岸清掃・美化活動〉

海開きの前に市内全域で海岸清掃を実施し、奥能登絶景海道(塩街道)沿いに花植えなどの美化活動も行っています。



海岸清掃・美化活動

(3) 自然体験型学習の場の提供

道の駅「狼煙」では、珠洲の地豆である大浜大豆のきな粉作りや豆腐作りが体験できます。また、市内各所で、塩づくり、珠洲焼、農作業、漁師、シーカヤックなどの各種体験ができます。



大浜大豆のきな粉作り



大浜大豆の豆腐作り



塩田体験

4. 今後の取り組み

奥能登絶景海道は、映画「さいはてにて」のロケ地となった木ノ浦海岸、またNHK連続テレビ小説「まれ」のロケ地となっている「揚げ浜塩田」、そして先日、日本遺産に認定された「キリコ」など、全国から注目を集めています。

これらを活かした商品開発や、美しい里山里海を守るための美化活動を積極的に行い、また地域の子供達と、豊かな里山里海を体験する「絶景海道体験活動」など、奥能登絶景海道の地域資源の活動や保全に取り組めます。



見附島の妖精:みつけたろう

< 執筆者 > 奥能登岬みちづくり協会事務局

日本風景街道は、現在、全国で 135 ルートが登録されています (平成 27 年 4 月末現在)

平成 27 年 3 月に四国で「うたづ今昔ロマン街道」が新規登録され、日本風景街道は 135 ルートとなりました。

各風景街道の概要は、日本風景街道のウェブサイト(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。

北陸風景街道協議会

- 4-1 日本海パークライン
- 4-2 北アルプス大展望・最長最古の道の道ルート
- 4-3 金沢城下 野町・弥生丸 街道
- 4-4 美能寺参道
- 4-5 良興寺杖 大さゆり温泉の道
- 4-6 日本の原風景
「長門の谷の狭く里への道の道」
- 4-7 飛騨の谷の狭く里への道の道
- 4-8 よりみち街道「中津川」
- 4-9 越後森有山回廊
- 4-10 佐渡風土記街道
- 4-11 白山回廊街道

シーニックバイウェイ 北海道推進協議会

- 1-1 支笏湖にヒコルート
- 1-2 大湯・富良野ルート
- 1-3 東オホーツクシーニックバイウェイ
- 1-4 宗谷シーニックバイウェイ
- 1-5 釧路湖系・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 1-6 函館・大沼・霧火湖ルート
- 1-7 帯広の大地の道
- 1-8 十勝シーニックバイウェイ
- 1-9 十勝平野・山越ルート
- 1-10 十勝シーニックバイウェイ
～トカプ子連大空路
- 1-11 札幌シーニックバイウェイ
～帯広山麓・道央回廊

中国地方風景街道協議会

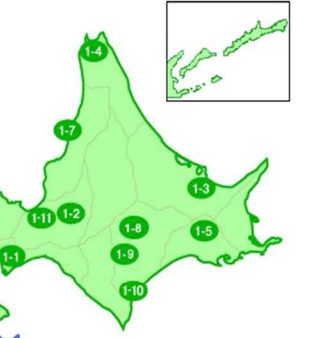
- 7-1 R185さびさび街道
- 7-2 歴史街道「萩街道」
- 7-3 人間文化の原風景
～「こゝろをつなぐ里の道の道」
- 7-4 本州最西端の道「瀬波のクロスロード」
- 7-5 しまなみ風景街道
- 7-6 丸山回廊風景街道
- 7-7 熊野古道 熊野古道とミュージアム
- 7-8 熊野古道 熊野古道の道

東北風景街道協議会

- 2-1 のしろ白神の道
- 2-2 ぶくしま街道/ハッピーロード
- 2-3 みちのくおとぎ街道
- 2-4 菅江温泉と巡るあさぎの道
- 2-5 薬師ほろろの道
- 2-6 忘れたい過去と歴史と自然を「江戸の街並みから感じる道」
- 2-7 湯宿街道
- 2-8 奥州街道 温泉街道
- 2-9 青森エントランスロード
- 2-10 栗子の松街道
- 2-11 出羽の古道六十里街道
- 2-12 城下町回廊街道
- 2-13 広瀬川せせらぎ街道
- 2-14 弘前まちの道/朝霧街道
- 2-15 越後六ヶ所・十三峠
- 2-16 釜石「旅のみち」
- 2-17 十和田湖と温泉街道
- 2-18 奥州街道と縄文のみち
- 2-19 黄塩の東の道

九州風景街道推進会議

- 9-1 日本海岸きらめきライン
- 9-2 日豊海岸シーニック・バイウェイ
(南工・北浦大濠街道)
- 9-3 なまきさきセットロード
～「つなぐ心と自然の道」
- 9-4 北九州のまちの道「ゆっくろい道」
- 9-5 ちよとよみち 唐津街道のみち
- 9-6 かこしほ街道
- 9-7 玄界灘街道
- 9-8 九州横断の道 やまなみバイウェイ
- 9-9 九州横断の道 阿蘇くまもと道
- 9-10 「島の回廊」大分県道
- 9-11 みどりの里・山回廊街道
- 9-12 別府温泉・国東半島回廊の道
- 9-13 あまくさ街道



風景街道関東地方協議会

- 3-1 浅間・白根・志賀ざわの道
- 3-2 千田川・花の島山回廊
- 3-3 江戸・東京・みらい街道
- 3-4 「東京・迎賓地区」
- 3-5 ルート299北のほろろ街道
- 3-6 千姿万々の阿蘇山「まち」街道
- 3-7 陸空から天空への道 日光街道
- 3-8 秋の里街道
- 3-9 日本回廊街道298三郎
- 3-10 浅間コングレイトル
- 3-11 甲州街道 (八王子・相模野・鎌倉エリア)
- 3-12 南郷街道 花畑街道
- 3-13 川崎街道 花畑街道
- 3-14 東海街道 原風景街道
- 3-15 歴史街道「ぶらり大仏」(Slow Life OGO)
- 3-16 ロングビーチ 霧のかけがれ街道
- 3-17 谷川原の道(歴史の道)

風景街道中部地方協議会

- 5-1 日本回廊街道「伊勢新道のみち」
- 5-2 くるの・富士山回廊街道
- 5-3 二つのアルプスに包まれた「信州伊豆アルプス街道」
- 5-4 新しさをなつかしさをの道 ～中津街道～
- 5-5 こころのふるさと「木霊の道」中山街道
- 5-6 湯沢温泉の歴史街道
- 5-7 信州の心花畑街道
- 5-8 古道回廊「奥山街道」
- 5-9 「なごみの伊豆 なごみの道」 歴史街道
- 5-10 浜名湖サイクリングロード
- 5-11 美濃白川 四季街道
- 5-12 民谷温泉と高北街道歴史の道「朝霧街道」
- 5-13 南信州 信州街道
- 5-14 きらり三島街道ゆづりやがら街道
- 5-15 東海街道「山崎の心花畑街道」
- 5-16 信州回廊「天にまるとまつの道」
- 5-17 大井川流域「南アルプスの道・お茶の道」
- 5-18 「合掌・さくら」飛騨街道
～世界遺産めぐりの道～
- 5-19 飛騨回廊街道
- 5-20 下谷めぐりの道

四国風景街道協議会

- 8-1 いやし・もてなし山回廊
- 8-2 瀬戸内石炭の道
- 8-3 瀬戸ロマン街道
- 8-4 南の歴史の道
- 8-5 土居新中
- 8-6 四万かい道
- 8-7 光まわりの道-阿南-
- 8-8 美作のまちの道
- 8-9 阿波街道
- 8-10 土佐のまちの道
- 8-11 三子回廊回廊街道
- 8-12 ～オーシャンビュー～瀬戸内サンライン・原風景街道
- 8-13 えひめ やまなみ回廊 原風景街道
- 8-14 土佐トコロ回廊街道
- 8-15 うたづ今昔ロマン街道

近畿風景街道協議会

- 6-1 日本文化のクロスロード(大和路・下ツ橋)
- 6-2 新世にそよぐの道
- 6-3 丹波半島「古代ロマン街道」
- 6-4 日本回廊街道 京都
- 6-5 日本回廊街道 伊勢街道
- 6-6 御所まちの道
- 6-7 中之島・大川・御船回廊
- 6-8 若狭回廊 街道
- 6-9 琵琶湖まわりの道
- 6-10 たんば街道
- 6-11 愛宕街道 (京都高島本)
- 6-12 悠久の道
- 6-13 三草のまち・海・緑・そして心を包む道
- 6-14 回廊回廊
- 6-15 日本回廊街道まほろば
- 6-16 日本回廊街道 ～麓街道と大和・熊野街道～
- 6-17 美山の道
- 6-18 ぶくろい道
- 6-19 西の道

沖縄地方風景街道協議会

- 10-1 琉球歴史ロマン街道「春道」
- 10-2 やんばる回廊街道

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	佐藤 茂一	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	木村 恭一	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	西村 逸夫	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	増田 純夫	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	宮原 敏	052-953-8171 (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	高橋 祐史	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	榎 敦司	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	黒口 貴弘	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	松元 勝美	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	大城 照彦	098-866-1914 (内線 4353)

【ご意見をお寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8111(代表)(内線 38223) FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>